

道徳科学習指導案

指導者 桂 貴人

1 日 時 平成 29 年 12 月 1 日 (金) 3 校時 (10:30～11:15)

2 学年・組 第 4 学年月組 28 名

3 主題名 正直に生きる <内容項目 正直・誠実 A (2) >

4 教材名 「正直」五十円分 (文溪堂)

5 ねらい 多かったおつりを返しに行くたけしの気持ちを考えることを通して、正直・誠実に行動しようとする道徳的心情を育てる。

6 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値

日々の生活を気持ちよく清々しい気持ちで過ごすためには、自身にうそやごまかしがあってはならない。正直であるからこそ明るい生活が実現できる。しかし現実には、損得感情や自己防衛のために、うそをついたり、不正な行動を取ってしまったたりすることがある。そんなときに心の中で葛藤し、正しい選択をする必要がある。正直で誠実な行動を選択することで、清々しさや満足感が得られるのである。

この時期の児童には、うそやごまかしはいけないことだとするだけでなく、正直・誠実であることの快適さを自覚できるようにすることが大切である。更に、過ちを犯したときには素直に反省し、すぐにでも正直に伝える等して改めようとする態度を育てることが求められる。正直・誠実であるからこそ、自身が清々しく生活できること、また、周りの人まで清々しい気持ちになれることを理解させたい。そして、これからの生活で児童が元気よく生活でき、正直・誠実に行動しようとする道徳的心情を育てたいと考え、本主題を設定した。

(2) 児童の実態

本学級の児童は、正直で誠実な行動を取るべきだと分かっている。以前、学級のホワイトボードに、いたずらで書いた落書きが発見された際「自分が書きました。」と、みんなの前で正直に申し出る児童もいた。しかし一方で、頭では分かっている、自分に都合が悪いことがあった場合に、うそやごまかしでやり抜けようとする児童もいる。例えば鬼ごっこ等で遊んだ場合には、タッチした、していないの口論になることもあり、教師が指導すると不正を認めるということもあった。こういった例からも、頭では正直であるべきだと分かっている、自身が当事者になった場合には、行動として表れていないという現状がある。

そこで、本教材での学習を通して自身の経験を振り返らせ、うそやごまかしがあれば清々しく過ごせないことや、逆に正直であるからこそ元気よく生活できることに気付かせたい。

(3) 教材について

本教材は誰にでも起こり得る、心の中の葛藤を描いたものである。

主人公のたけしは、ある日、店で買い物をした際のおつりが50円少ないことに気付く。その時は、すぐさまお店に戻り、おつりを返してもらうことができた。しかし別の日、今度はたこ焼き屋で買い物をした際に、おつりが50円多いことに気付く。正直に伝えられないまま、たけしは財布にお金を入れてしまう。その後、弟が財布の中のおつりを確認した際に50円多いことが発覚し、たけしは返しに行こうか葛藤する。たこ焼きを食べながら考えた末、たけしはおつりを返しに行く決意をする。たこ焼き屋のおっちゃんは、おつりが多いと返しに来たことに驚き、嬉しく思った気持ちとして、たこ焼きを3こずつ渡す。2人が清々しさを感じながら食べた「正直」50円分のたこ焼きは、おいしく感じられたという内容である。

本教材のような場面は誰にでも起こり得ることであり、自身の問題として捉えやすいと思われる。主人公の葛藤を考えることを通して、正直に行動しようとする心情を育てるとともに、自身の経験を振り返らせ、これからの生活に生かしたいこと等について考えさせたい。

7 考えを深め合う授業の工夫

- ・道徳ノートを活用することで、自分の考えを持たせたり、本時の学習での気づきや思いを振り返らせたりする。
- ・グループで話し合う活動を通して考えの相違点や類似点に気付かせ、考えを深めさせる。

8 本時の展開

過程	学習活動	学習形態	主な発問と予想される児童の反応	教師の働きかけ	準備物・評価
導入	50 円あった場合の使い道について交流する。	一斉	50 円あったら何に使いますか。 - おかしを買う。 - 文房具を買う。	教材への方向付けを図る。	
展開	教材を読む。	一斉		場面整理を行う。	挿絵等
	おつりが足りなかったときの主人公の気持ちを考える。	一斉	おつりが少なかったとき、たけしはどんなことを思っていたでしょう。 - 早く返してもらわないと。 - 気付いて良かったな。 - 損するところだったな。	主人公の気持ちに共感させる。	発問カード
	だまってたこ焼きを食べていたときのたけしの気持ちを考える。	個別 グループ 一斉	だまってたこ焼きを食べていたとき、たけしはどんなことを考えていたでしょう。 - 言わなければバレないかな。 - 特売ということにしておこうかな。 - 早く返しにいかないと。 - 多いときにだまっているのは良くないな。 - 弟の前でかっこ悪いことはできない。	- グループで話し合わせ、様々な意見に触れさせる。 - 様々な思いで葛藤し、答えを出した主人公の気持ちを考えさせる。 ㊦悩んでいたたけしは、どうして返しに行こうと思ったのでしょうか。 ㊦50 円を受け取ったおっちゃんは、どんな気持ちだったでしょう。	※正直に行動する大切さに気付くことができたか。 <道徳ノート・発言>
終末	「正直」50 円分のたこ焼きがおいしかった理由について考える。	一斉	「正直」50 円分のたこ焼きが、おいしく感じられたのはどうしてでしょう。 - ただで食べられたからおいしい。 - 正直に話してすっきりとした後だからおいしい。	正直な行動により後ろめたい気持ちがなくなり、清々しさを感じていることに気付かせる。	
	本時の振り返りを行う。	個別 一斉	これまでの生活を振り返り、正直にできた経験やできなかった経験、これから生かしたいことについて書きましょう。	自分に都合が良いように言い訳をした経験を振り返ったり、これからの生活に生かしたいと思ったことについて書かせる。	※正直・誠実な行動を取ることの大切さに気づき、これからの生活に生かそうとすることができたか。 <道徳ノート>

9 板書計画

第二十五回 道徳

五十円あったら・・・おかしを買う
文ぼう具を買う

「正直」五十円分

おつりが少なかった

そんなところだったな。

おつりが多かった

だまってたこ焼きを食べていたとき

五十円くらいいいかな。

返しにいい。

だまって食べている挿絵

多いおつりに気付く挿絵

買い物の挿絵

おつりを返す挿絵

うれしい
ありがたい
えらいな

正直 50 円分の
たこ焼きを食べている挿絵

正直に言った
からすつきり
した。

なやんだ結果、返しに行った。

10 道徳ノート

道徳ノート

だい二十五回

「正直」五十円分

名前

月 日

なやんだ結果、返しに行った。

正直 50 円分の
たこ焼きを食べている挿絵

正直に言った
からすつきり
した。

うれしい
ありがたい
えらいな

おつりを返す挿絵

多いおつりに気付く挿絵

買い物の挿絵

だまって食べている挿絵

五十円くらいいいかな。

返しにいい。

だまってたこ焼きを食べていたとき

おつりが多かった

そんなところだったな。

おつりが少なかった

「正直」五十円分

五十円あったら・・・おかしを買う
文ぼう具を買う

第二十五回 道徳